

＊家（義理の兄）

「……ただいまぁ」

今日は大変だった。色んな人に犯されて、エッチなことしかしていない。帰りの電車も当たり前みたいに痴漢されたし、もう俺はチンポもお尻もグチョグチョだった。乳首も沢山舐められ過ぎてヒリヒリする。

「おかえり♡唯♡」

「あ、に、兄さん……」

そこにいたのは、俺の義理の兄だった。俺は…この世界に来たばかりの頃、身よりもないし、とても困っていた。そこで初めて出会った“兄さん”が

「うちに来なよ」と言ってくれて、居候させてもらっている。

（この BL ゲーの世界に転移して、真っ先にこの兄に犯されたからなあ。兄さんの顔を見て、ここが俺の知ってる BL ゲーの世界だと知ったし）

つまり兄は BL ゲーの攻略対象だ。主人公もどこかにいるはずだけど、会ったことはない。それどころか、この世界は元々性的な事に緩いのに加えて、なぜか俺は「エッチな体質」を持っているせいで毎日色んなやつに犯されまくっている。普通なら、異世界転移や異世界転生したら、主人公や攻略キャラを探すのかも知れないが、俺は今のこの異常な世界に流されているだけで精一杯だった。

モブキャラ全員イケメンだから、誰に抱かれても  
幸せだし♡エッチな毎日は楽しいし充実してるから、  
全然良いんだけどさ♡

ちなみに父親は今は海外に出ている、この家に俺  
と兄しかいない。

「遅かったな。唯。大丈夫か？なんか疲れてない  
か？」

「う、うん。大丈夫」

「本当か？無理するなよ？」

俺の兄は心配性だ。彼は玄関先で靴を脱ぐ俺をじ  
っと見つめて、心配そうに眉を下げた。

「あっ」

俺が玄関先でふらつくと、兄さんがそれを受け止めた。そのまま、ぎゅうっと抱きしめられ、兄さんの腕の中に収まる。

「なあ、今日はもうこのまましちゃう？」

「っ…♡」

兄さんはすぐに俺の服を脱がせ始めた。

「やっ、やめっ…♡ここ、玄関…♡」

「だいじょーぶ♡鍵ならしめたんだからさ。なっ、このままここですか、これからお風呂に一緒に入ってそのままセックスのどっちがいい？」

「っ♡それ、どっちも同じ…ッあっ♡」

「ぶー、時間切れ♡ここでしちゃいます♡」

「唯……ごめんな。でも、唯が悪いんだよ。ずっとずっとこのところ、毎日色んなヤツに犯されてきてさあ……体質だからって、そんなに犯していいわけないのにさあ……ああ、でもっ俺も同じ事、唯にしてるッ♡ダメな兄貴でごめんなあ…♡でも、唯に見られると、凄く感じるッ♡」

「兄さん、小声で何言ってるの？聞こえないよ？…  
…むぐっ！」

俺の唇に兄さんのチンポが押し当てられた。

「良いんだよ。気にしないで。なんでもないから♡ん  
っ…唯、ほら舐めて」

「んむっ…っ…♡」

兄さんは勝手に俺の口を蹂躪しまくり、気持ちよくなっているみたいだ。先ほどよりも余裕を失っているらしく、兄さんは俺の喉マンコにググッとチンポを押し付けてくる。

(く、苦しい…♡でもお、喉の奥気持ちいいよお♡なにこれえ♡喉もマンコになっちゃったみたい♡俺、男なのに、すごい♡なんで口にチンコ入れられて、気持ちよくなってるんだろ……♡でも、すげえいい♡背筋がゾクゾクしてきたぁ♡チンコ口に入れられると気持ちいい♡なんでえ♡兄さんのチンポだからかなぁ♡生あったかくて、ヌルヌルで固くてゴツゴツしてる♡喉の弱い所を突かれると、なんでか俺のおチンチンとお尻がジンジンしてくる♡♡メスにされちゃう♡♡♡)

「唯、気持ち良いの？ここ、兄ちゃんだけのものにならないかなあ……。ね、唯♡家では、唯は兄ちゃんのものだよ？♡唯は、兄ちゃんの専属オナホだよ？え？♡」

「ふっ♡うん…♡兄さんの専属…♡オナホ♡です♡」

「そっか♡じゃあ、オナホなら無理やり犯してもいいよね？♡」

兄さんが急にグリッと指を突っ込んだ。

グリグリッ♡グリグリッ！♡♡♡

「あぁっ！♡」

「こんなに簡単に指も入ってさぁ…ガバガバオナホだよ♡もう指一気に三本くらい入るんじゃないの？♡」